

容量市場の見直しの検討状況について

2021年1月8日 資源エネルギー庁

1. 前回会合(12/1)における御指摘を踏まえ、12月24日に資源エネルギー庁の審議会※を開催。

※総合資源エネルギー調査会電力・ガス基本政策小委員会制度検討作業部会

2. 同審議会においては、前回会合の御指摘事項を紹介の上、以下の論点について議論を行った。

- 供給力の管理・確保
- 入札価格の妥当性の確保
- 小売事業環境の激変緩和
- オークション結果の情報公開
- カーボンニュートラルとの整合性確保(非効率石炭フェードアウト)

3. 委員・オブザーバーからは、容量市場の意義や役割のほか、上記論点に係る制度設計の在り方について、幅広い御意見があった。

4. また、カーボンニュートラルとの整合性に関しては、休廃止を誘導する措置の対象とする火力の範囲について、再エネの主力電源化に欠かせない調整力や、安定供給の確保の観点から踏まえた議論が行われた。

5. こうした御議論を踏まえつつ、今後、より詳細な検討を進め、年度内を目途に見直し案を取りまとめる予定。